

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 佐藤、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3386

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第6週（令和4年2月7日～令和4年2月13日）

福岡県感染症情報センター

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	7	79	190	1,125
腸管出血性大腸菌感染症	1	8	7	80
A型肝炎	1	1	3	7
日本紅斑熱	1	1	0	2
レジオネラ症	1	3	12	108
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	6	13	116
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	9	66
梅毒	2	25	130	801

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	1	0.01	1.00	41	0.01
RSウイルス感染症	152	1.27	0.78	1,050	0.34
咽頭結膜熱	30	0.25	0.94	526	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	128	1.07	0.98	1,235	0.40
感染性胃腸炎	770	6.42	0.81	17,903	5.74
水痘	20	0.17	2.00	189	0.06
手足口病	5	0.04	0.33	606	0.19
伝染性紅斑	1	0.01	1.00	42	0.01
突発性発しん	51	0.43	0.98	753	0.24
ヘルパンギーナ	0	0.00	-	90	0.03
流行性耳下腺炎	1	0.01	0.33	84	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	7	0.01
流行性角結膜炎	1	0.04	0.11	112	0.16
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	5	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	3	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	4	0.01

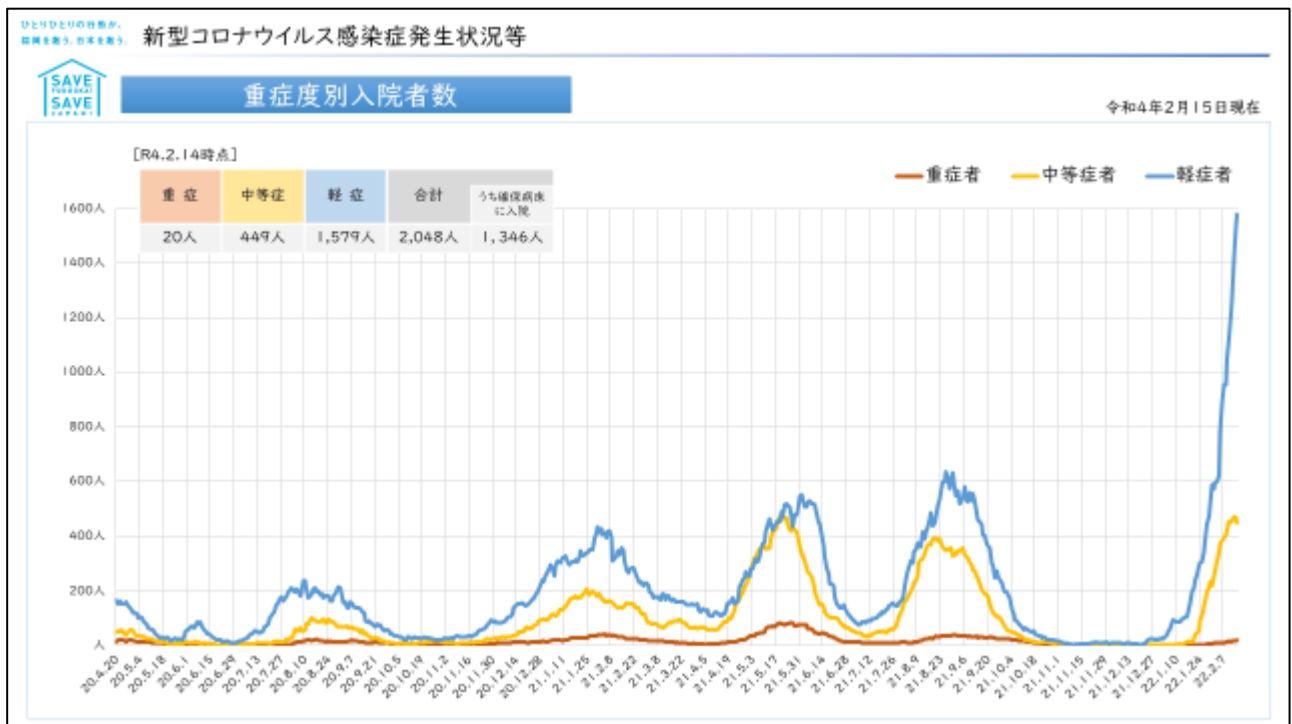
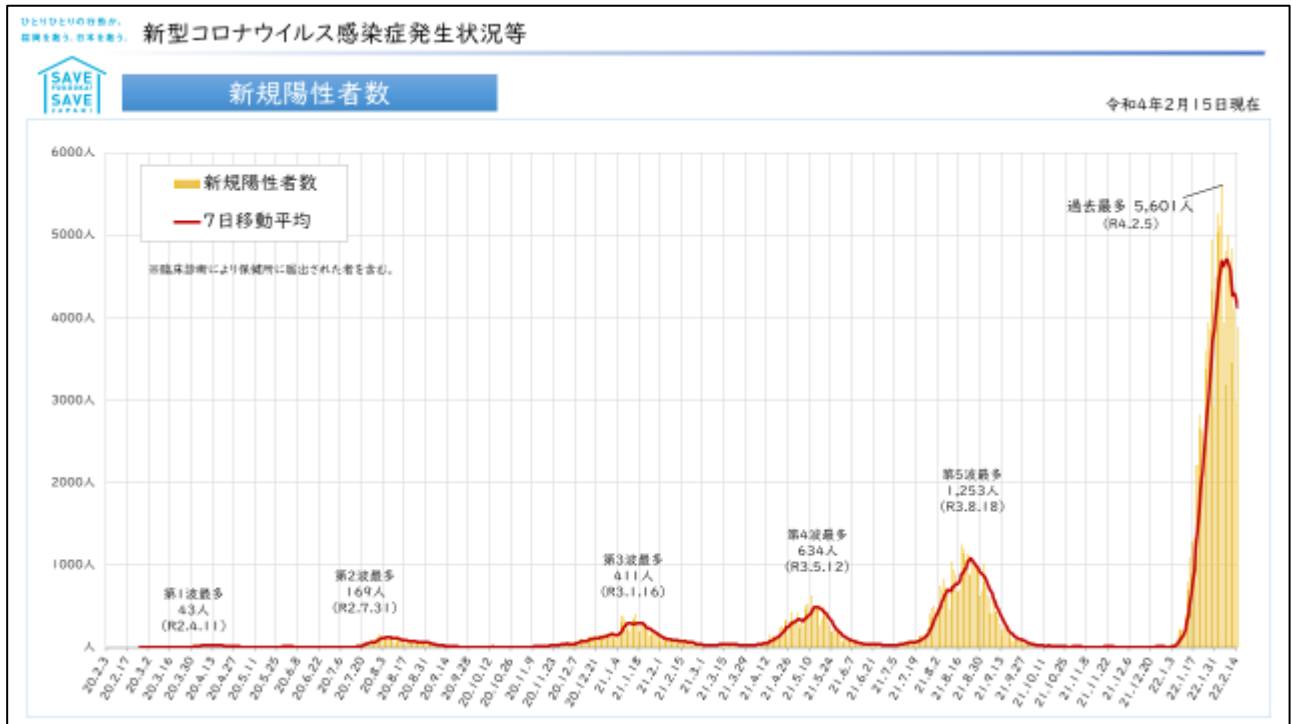
■ コメント

■ : 警報レベル

■ : 注意レベル

- ・梅毒の報告が2件ありました。累積報告数も例年の同時期に比べ多くなっています。梅毒は、性的な接触（他人の粘膜や皮膚と直接接触すること）などによって感染します。感染後3～6週間程度の潜伏期を経て、経時的に様々な症状が出現します。初期の症状は、感染がおきた部位のしこりや股の付け根の部分（鼠径部）のリンパ節の腫れ等です。痛みがないことも多く、治療をしなくても症状は自然に軽快します。しかし、体内から病原体がいなくなったわけではなく、他の人にうつす可能性があります。症状があらわれた場合は早めに医療機関を受診し、検査や治療を受けましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>